

教養教育科目

1. 教養教育科目の特徴

大学に学ぶ学生に求められる広く豊富な教養の修得、さらにさまざまな問題を抱えた現代社会の様相を広い視野で洞察する目を養い、総合的な判断力を培うことを重視する観点から、本学の建学の精神の基盤となるキリスト教関連科目（3科目3単位以上）をはじめ、思想と文化（2単位以上）、地域・国際理解（2単位以上）、人間と社会（2単位以上）、人間と科学（2単位以上）のリベラルアーツ科目の履修を課しています。また、教養教育科目は専門教育に向けた関心や動機付けを積極的に形成する役割も担っているという考えから、アカデミックリテラシー（6単位以上）や言語コミュニケーション（8単位以上）科目の履修を求めています。

●尚綱コア

自校教育（建学の精神、キリスト教）を中心とした科目

●リベラルアーツ

現代社会と人間、あるいは人間と自然との関わりを複眼的な視点で捉えることができるよう、種々の学問的アプローチを講義する科目を配置しています。幅広い分野の履修を促すため、思想と文化、地域・国際理解、人間と社会、人間と科学、総合の分野に分けた科目

●コモンベーシックス

言語コミュニケーション

グローバル化する社会の中で必要とされる知識とコミュニケーション能力を身につける科目

アカデミックリテラシー

大学での学びを深めるための汎用的知識とスキルを獲得する科目

●キャリアライフデザイン

キャリア教育の目的を、内定獲得までの「就活」に限定することなく、長期に渡るライフデザインにも対応できるように位置づけ、この区分に心と体の健康を維持するための知識修得、スポーツを通じた実践も含めた自己管理能力を養う科目を含めて、一人ひとりのキャリア形成と生活に関する科目

教養教育科目「カリキュラム系統図」

全学類共通

	1年次		2年次		3年次	4年次
	前期	後期	前期	後期		
尚 綱 コ ア	キリスト教概論 I 尚 綱 学	キリスト教概論 II	キリスト教演習			
思想と文化	日本の言語文化	芸術と表現	哲学	日本近代史とキリスト教 現代の倫理		
地域・国際理解	西洋の歴史	日本とアジアの歴史	世界の宗教と文化	共生社会論		
人間と社会	国際社会論	国際交流演習	異文化理解学			
人間と科学	地域文化論					
	法学概論(日本国憲法)	経済学	人権論			
	市民教育		キリスト教と現代社会			
	社会学入門		福祉社会論			
	基礎化学	心の科学	生命の科学	生活環境論		
	生活と化学					
	健康と栄養					
	AI社会とデータサイエンス					
キャリアライブラデザイン	キャリアデザイン I	ウェルネス科学論	キャリアデザイン II	キャリアアップセミナー 生涯学習論 (3年後期)		
	健康・スポーツ I (講義・実技)		海外インターナショナル シッ プ 健康・スポーツ II (講義・実技)			
	チャレンジポートフォリオ I		チャレンジポートフォリオ II	キャリアアップレポート フォリオ III		
言語コミュニケーション	英語リーディング I	英語リーディング II	英語リスニング	英語ライティング 実践英語 C (資格試験)	実践英語 A (英語で学ぶ文化) (3年前期)	実践英語 B (英語プレゼンテーション) (3年後期)
	英語コミュニケーション I	英語コミュニケーション II				
	ドイ ツ 語 I	ドイ ツ 語 II				
	フランス語 I	フランス語 II				
	韓国語 I	韓国語 II				
	中国語 I	中国語 II				
	日本語と日本事情 I	日本語と日本事情 II				
アカデミックリテラシー	基礎演習 I (情報リテラシーを含む)	基礎演習 II (ライティングを含む)	日本語表現法	情報倫理		
	メディアリテラシー	情報処理演習				